

3 要把握項目、内容

		把握すべき項目、内容	提案者
1. 淀川水系の目標、理念		人と川のかかわりはどう変わってきたか。	桝屋委員(No7)
2. 社会、流域の視点		河川整備のコストの点検	倉田委員(No11)
		地方自治体と河川管理者の関係(予算関係も含む)	谷田委員(No5)
5. 治水	5-2 洪水	管理者による治水安全度の基準設定	谷田委員(No5)
		雨と河川流量の関係	桝屋委員(No7)
		雨量の時間推移と河川流量変化との関係、水系・流域でのパターンの違い	桝屋委員(No7)
		河川構造物、堤防、河川流量の時間推移と越水・破堤・洗掘・浸透との関係	桝屋委員(No7)
6. 利用	6-3 水利用	上水、工業用水、農業用水、雑用水が上流から下流までどう変化しているか	桝屋委員(No7)
		取水・放水と河川流量との関係	桝屋委員(No7)
		取水・放水を考慮した水のフロー	桝屋委員(No7)
		渇水期の状況	桝屋委員(No7)
7. 環境	7-2 生物、生態系	生息環境・近年の環境の変化	川上委員(No2)
		生物の変遷(琵琶湖の生物と淀川水系の生物の関係、琵琶湖・淀川水系の生物の特殊性認識・配慮)	川上委員(No2)
		動物・植物などの生物環境の変遷、種と数、希少種	桝屋委員(No7)
	7-3 水量、水質	水質の変遷、棲息生物から見た水質	桝屋委員(No7)